

# 青山大人(あおやまやまと) 県議会報告かわら版47号



平成 25 年 4 月 8 日発行 青山大人事務所 土浦市乙戸 801-2

電話 029-828-7011 FAX 029-828-7012 メール [info@aoyamayamato.net](mailto:info@aoyamayamato.net)

★フェイスブックでは、日常の活動やプライベートについて公開しております。また、メールにて、ファックス番号を送って頂ければ、毎月一回確実にお手元へ議会報告が届きます。

～青山大人(あおやま やまと)の略歴～

1979年土浦市生まれ。現在34歳。荒川沖小、土浦三中(陸上部主将)、土浦一高、慶応義塾大学経済学部卒。2006年12月に県議会議員初当選(当時、全国最年少の都道府県議会議員)。2010年12月の県議会議員選挙にて2期目当選。2008年1月に第21回日米青年政治指導者交流プログラム日本代表団に選抜される。街の活性化のため映画ロケを地元へ誘致するなど議会以外でも精力的な活動を展開。東日本大震災時は翌日から市内の水道復旧状況等をいち早くブログで情報発信し、一日での閲覧者が最大35000件を記録。また、福島県や宮城県への被災地支援活動が新聞等で大きく掲載される。現在、県議会農林水産委員会委員、予算特別委員会委員、議会運営委員会委員、土浦市消防団第27分団員(土浦市操法大会へ3度出場)。

## ●平成 25 年第一回定例県議会終了。

県議会では約一カ月にわたって、平成 25 年度の一般会計予算案などが審議されました。審議の結果、予算案や県 AED 等の普及に関する条例案の可決、通学児童生徒の安全確保に関する県議会調査特別委員会の設置が決まりました。

## ●是非、教えてください。

茨城県が管理する道路の総延長は約 4,200 km あります。その内、約 1,200 km が通学路に指定されており、その中で歩道設置は約 783 km と全体の約 65.2% となっております。

昨年、改めて児童生徒の通学路の緊急点検(全 2,067 箇所)を行ったところ、何かしらの安全対策が必要な箇所が 1,890 箇所ありました。昨年 1 月末の段階で 690 箇所については、対策が済みましたが、まだ 1,200 箇所の要対策箇所があります。この内、731 箇所については、既に対策の目途が立っておりますが、残りの 469 箇所については、さまざまな事情により、対策時期が未定となっております。もちろん、これらについて早期の対策はもちろんでありますが、今回の緊急点検に含まれなかった場所にも、安全対策が必要な箇所があると思います。そこで昨年に引き続き、青山大人は皆さまから、通学路の危険箇所についての情報をお待ちしております。

これまでも市内いくつかの地域で、実際に青山が地域の役員の皆さまと一緒に危険箇所を歩き、その状況を踏まえ、行政等の関係機関と連携し、改善に努めてきました。是非、通学路の危険箇所の改善策について一緒に考えて行きましょう。

## ●茨城県農産物へ影響、約 1,174 億円

さて、日本が環太平洋連携協定(TPP)に参加した場合の茨城県農林水産物への影響の試算が発表されました。交渉参加国 11 カ国を対象に関税を撤廃し、追加の国内対策を行わない前提で、国の試算対象 33 品目のうち、県内で生産されている 20 品目を対象とした場合、茨城県内生産額(4,550 億円)の 25.8% に当たる 1,174 億円が減少するとのこと。

分野別の減少額は、農産物 1,113 億円(減少率 26%)・林産物 8 億円(同 11.4%)・水産物 53 億円(同 26.4%)。品目別でみると、コメ 469 億円(減少率 49%)・豚肉 338 億円(同 77%)・牛乳乳製品 151 億円(100%)・牛肉 71 億円(58%)・鶏卵 61 億円(17%)とのこと。

今のうちから、農業育成策を講じるべきですが、これは茨城県だけではありませんが、地方議会レベルでは正直、中身について情報がなさすぎるのが現状です。政府には情報を積極的に国民、地方行政、地方議会に公開してほしいところです。

また、私はそれよりも今現在危惧しているのは、TPP を睨み、現在約 4,500 億円農林水産物の輸出額を 2020 年に 1 兆円に倍増と政府がうたっておりますが、(もちろん農産物の輸出拡大は賛成です) 2 年前の東日本大震災による原発事故以降、茨城県の農産物に対して 43 の国や地域は、今も輸入規制をかけております。その内、中国、台湾、ニューカレドニア、ロシアの 4 カ国に関しては未だに全面輸入禁止措置が取られております。このような状況への改善策について、先の県議会農林水産委員会でも少しふれましたが、まずはこの現状について解決していかなければなりません。